

日本生体医工学会 平成20年度 第2回理事会 議事録

日時： 平成20年7月18日 15時～18時

場所： 東京ガーデンパレス 白鳳

出席者

会長	副会長	理事															監事	幹事	支部長					事務局					
楠岡	安藤	福井	生田	石原	伊関	小笠原	佐藤	砂川	千田	田村	千原	辻岡	橋爪	林	湊	南谷	山本	山口	山越	植野	松村	有澤	江刺	伊東	岩田	梶谷	廣川	村上	徳山
英雄	讓二	康裕	幸士	謙	洋	康夫	正明	賢二	彰一	俊世	國宏	克彦	誠	紘三郎	小太郎	晴之	克之	隆美	憲一	彰規	泰志	準二	正喜	一典	彰	文彦	俊二	聡	久美子
								委			×	委	委			委	委	×		×		×			×	×			

配布資料

- 20-2-2 平成20年度第1回理事会議事録案
- 20-2-3 平成20年度第2回理事会入退会審査対象者
- 20-2-4 オンライン入会システムについて
- 20-2-5 平成20年度各種委員会一覧
6- , 10-13, 16,17
- 20-2-6 WC2009 及び IFMBE の件
- 20-2-7 「外科系医療技術修練の在り方に関する研究」報告
- 20-2-8 英文誌（オンラインジャーナル）について
- 20-2-9 ME 技術教育委員会案
- 20-2-9- 第14回第1種 ME 技術実力検定試験結果報告
- 20-2-9- 業務委託契約書
- 20-2-14 編集委員会
- 20-2-15- 平成20年度選奨各賞選定委員長選出の件
- 20-2-15- 平成20年度選奨委員会
- 20-2-16- 専門別研究会経費等に関する取扱基準案
- 20-2-16- 日本生体医工学会入会の案内について
- 20-2-18 平成20年度選挙管理委員案並びに今後の選挙実施スケジュール
- 20-2-19 生体医工学シンポジウム2008
- 20-2-21- 電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取扱基準
- 20-2-22- 第47回大会論文検索システムについて
- 20-2-26- 科学新聞社との申し合わせ事項
- 20-2-26- 支部会員数
- 20-2-26- 医療安全調査委員会（仮称）の意見募集について

20-2-26- 平成 20 年度理事会日程について

「ME 技術実力検定試験ガイドブック」

「第 1 4 回第 1 種 ME 技術実力検定試験筆記試験問題」

「日本医療機器学会認定医療機器情報コミュニケーター (MDIC) のご紹介」

議事

1. 理事会成立の件 (総務 湊)

定款に定める要件を満たしている (出席 12 名 委任状 5 通 / 18 名) ことを確認して理事会成立を宣言した。

2. 前回議事録承認の件 (審 総務 湊 資料 20-2-2)

前回議事録につき確認、原案どおり承認された。

3. 入退会 (審 会員 回覧 資料 20-2-3)

入会：正会員 16 名 準会員 8 名 維持会員 1 社

退会：正会員 21 名 準会員 5 名

会員資格等変更：準 正 3 名

全入退会、資格変更が承認された。

この結果、現況は正会員 (国内) 2367 名、正会員 (海外) 42 名、準会員 (国内) 383 名、準会員 (海外) 0 名、維持会員 19 社 29 口 顧問 3 名、名誉会員 56 名となる。

4. オンライン入会システムについて (審 会員 千田・佐藤 資料 20-2-4)

現在の紙媒体での入会申し込みを改め、オンライン入会システムを導入する基本方針について今後検討を重ねることとなった。

現状の申し込み記載項目を踏襲し、オンラインで登録させる案が提示された。

推薦者の扱いについて以下の議論があった。

- 現状では、入会に推薦者を必要とし、推薦者がいない場合は略歴の送付で可としている。オンラインでは、推薦者の署名の扱いが難しいので、推薦者の連絡先を記載させ、事務局で確認する方法に変えてはどうか。

- 推薦を要することが障壁となっている可能性もあり、推薦を無くしてはどうか。

会員になるためには理事会での承認が必要とされているため、申請から会員になるまでに時間を要していることについて議論された。

- 理事会承認を事後として、会員担当理事の承認により会員になれることとしてはどうか。

今後の申請方法について以下の議論があった。

- 事務作業を簡略化するために、移行期間を経た後、全てオンライン申請としてはどうか。

- 紙での申請も便利な面があり、従来法、オンライン申請の両方を運用する方が良いのでは。

以上の議論を踏まえ、次回の理事会で決定する。参考とするために医科器械学会の対応を調べることとなった。

5 . 広報委員会委員案承認の件 (報・審 広報 山本 資料 20-2-5)

委員会案が提案され承認された。

6 - . 国際委員会委員案承認の件 (報・審 国際 福井 資料 20-2-6-)

委員会案が提案され、福井理事に委員会に入っていただくことを条件に承認された。

6 - . WC2009 及び IFMBE 各賞推薦等について (報・審 国際 福井 資料 20-2-6-)

WC2009 が来年ミュンヘンで開催される。菊池先生から、次期 IFMBE 理事候補者の推薦、IFMBE Award の推薦について検討依頼があった。

次期 IFMBE 理事に国際委員会委員長の辻岡先生を推薦すべきところであるが、体調不良のため、佐久間先生を推薦することとなった。

Award の推薦については、日本生体医工学会会員の過去の受賞者について調べ、次回理事会までに候補者を検討することとなった。

7 . 「外科系医療技術修練の在り方に関する研究」報告 (報 伊関 資料 20-2-7)

手術手技の習得修練には、状況に応じ cadaver を使用した実技習得が必要であるが、現行法では死体損壊罪に当たるおそれがあり、対応が必要とされている。外科関連学会協議会の 14 学会、外科系の日本医学会分科会の 10 学会よりガイドラインを提言し、これを受けて、厚生労働省が通知を発する手順で検討が進められている。日本生体医工学会としても、現状の医療技術の取得・修練及び医療機器開発の点から、その必要性について理事会で見解をまとめて提出することを約束した。

本理事会で、日本生体医工学会として cadaver の使用を認める方向の見解を提出することで合意を得た。最終文案については、伊関理事が作成し、持ち回り理事会に諮ることとした。

8 . 英文誌 (オンラインジャーナル) について (報・審 IFMBE 佐藤 資料 20-2-8)

シュプリングー・ジャパン株式会社の見積もりでは、年 4 冊、3000 人のアクセスを想定した場合に年間約 1000 万円の費用がかかる。同様の条件でエルゼビアの見積もりでは、年間約 1200 万円と回答があった。

現在、邦文の雑誌は 2008 年度予算において 1785 万円が計上されており、英文誌に更に 1000 万円台の費用をかけるのは厳しい状況であるので、英文誌について、この形で

は進めない方針とした。今後、英文論文の取扱いについて検討することとなった。

- 9 - . ME 技術教育委員会委員案承認の件（報・審 ME 技術教育 石原 資料 20-2-9- ）
委員会案が提案され承認された。
- 9 - . 第 1 4 回第 1 種 ME 技術実力検定試験合格者の認定の件（同 資料 20-2-9- ）
本年 6 月 15 日に 3 会場で実施された。対象者は 433 名であった。
総合合格者 96 名、ME 基礎論合格者 8 名、ME 機器論合格者 45 名が認定された。
第 2 種 ME 技術実力検定試験の合格者通知について、10 月末までの発表が要望されている。次回理事会が 11 月であるので、基本資料を理事に回覧し、異議がなければ会長が代表して承認し、11 月理事会で事後承認する手続きとすることについて承認された。また、
手続きに関する規約を作成することとした。
- 1 0 . ME 研究推進委員会委員案承認の件（報・審 ME 研究推進 石原 資料 20-2-10）
委員会案が提案され承認された。
次回理事会で、活動内容について報告することとなった。
- 1 1 . クリニカルエンジニアリング委員会委員案承認の件（報・審 CE 石原 資料 20-2-11）
委員会案が提案され承認された。
ME 技術実力検定試験ガイドブックを作成し、10000 部を印刷し、まだ 5000 部ほどの残がある。ガイドブックを必要とする理事からリクエストに応じること、臨床工学技士を育成する学校、高校に配布する予定であることが報告された。
日本医療機器学会認定医療機器情報コミュニケーター（MDIC）が発足し、法律や技術を広く扱っている。第二種 ME 技術実力検定試験と重なる部分があり、MDIC に対する当学会の対応についてコンセンサスを得ておく必要がある。MDIC についての更なる情報収集を石原理事に依頼した。
- 1 2 . 医用研設立準備委員会委員案承認の件（報・審 医用研 安藤 資料 20-2-12）
委員会案が提案され承認された。
現在、フォーラム等の活動を実施していることが報告され、活動内容に合わせて、委員会の名称の変更を検討することとなった。
- 1 3 . 教育委員会委員案承認の件（報・審 教育 田村 資料 20-2-13）
委員会案が提案され承認された。
サマースクールの実施について報告があった。
- 1 4 . 編集委員会委員案承認の件（報・審 編集 田村 資料 20-2-14）

委員会案が提案され承認された。

- 15 - . 平成20年度選奨各賞選定委員長選出の件（報・審 選奨 橋爪 資料20-2-15- ）
各賞の選定委員長案が提案され承認された。
- 15 - . 平成20年度選奨各賞選定委員選出の件（報・審 選奨 橋爪 資料20-2-15- ）
論文賞・阪本賞選定委員会委員、科学新聞賞・新技術開発賞選定委員会委員、荻野賞選定委員会委員について提案され承認された。科学新聞賞・研究奨励賞・阪本研究刊行助成賞・阿部賞選定委員会委員については、持ち回りで承認とする。
- 16 - . 専門別研究会経費等に関する取り扱い基準について
（報・審 学術 橋爪・生田 資料20-2-16- ）
専門別研究会経費等に関する取り扱い基準が提案された。本案では、余剰金が生じた場合に返納し、翌年度に繰越金として当該研究会あてに配分することになる。
これにより、取扱基準が定着した時点で専門別研究会規定を改定が必要となる。
今年度に支給から、このガイドラインに準拠して取扱うことについて承認された。
- 16 - . 専門別研究会入会申込書について（同 資料20-2-16- ）
専門別研究会の非会員が多い現状があり、研究会会長宛てに日本生体医工学会の入会の案内を送付し、非会員に対し入会を積極的に勧めるよう依頼することとなった。
- 17 . 医療技術開発推進委員会委員案承認の件（報・審 医療技術開発 石原 資料20-2-17）
委員会案が提案され承認された。
- 18 . 選挙管理委員案承認の件（報・審 選挙管理委員 小笠原 資料20-2-18）
選挙管理委員案が提案され承認された。
選挙実施スケジュールについて、会長選出のある年度においては3月の理事会前に開催する会長選出会議において次期会長を選出することになる。これより逆算すると、1月理事会で次年度の理事を確定する必要がある、これまでに理事選挙を終了しておかねばならず、したがって、11月理事会で理事候補者を決定する必要がある。すなわち、11月理事会以前に代議員から理事候補者の推薦を受けつける必要がある、スケジュールの見直しが必要である。スケジュールの変更が提案され、承認された。
- 19 . 生体医工学シンポジウム2008準備状況報告（報 支部 千原・湊 資料20-2-19）
生体医工学シンポジウム2008を、関西支部、甲信越支部、北海道支部の主催で本年9月19日、20日に大阪大学基礎工学部棟で開催し、2分30秒のプレゼンテーションとポスターでの発表を予定している。180件の申し込みがあり、うち100件の選奨候補があったと報告があった。

20 . 未来 ME 機器デザインコンテストの開催（審 生田）

未来 ME 機器デザインコンテストの開催について、まずは大会の中でコンテストを開催し、大会長の選奨とし、将来は学会の選奨とする方向を検討することの提案があった。第48回大会で試行することについては、費用のこともあり、大会長に一任することとなった。

21 - . 学会としての意見表明を行う場合の決定プロセスについて（報・審 楠岡）

時間の都合により、審議はされなかった。

21 - . E-mail 配信の取扱基準について（報・審 楠岡 資料 20-2-21- ）

電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取扱基準について、現行の基準では配信の可否についての判断基準が曖昧であることが問題であり、次回理事会までに検討することとなった。

22 - . 第47回大会開催報告（報・審 第47回大会 堀（代理松村））

第47回大会について、まだ会計処理が完了していないので、次回理事会で報告する。

22 - . 第47回大会論文検索システムのインターネット公開について（同 資料 20-2-22- ）

第47回大会の抄録・論文について、インターネットで検索して閲覧できる仕組みができていくことについて報告があった。特許申請を鑑み、大会開催の6ヵ月後からインターネットで一般公開することについて承諾された。

23 . 第48回大会準備状況報告（報 第48回大会 福井）

第48回大会の準備は順調に進捗していることについて報告があった。

24 . 第49回大会大会長選任について（報 第49回大会 楠岡）

第49回大会の大会長に千田理事が推薦され、承認された。

25 . 第50回大会の大会長選任について

第50回大会は記念大会であるので、大会長の選任について早い時期に行うことについて承認された。

26 - . 科学新聞社との交渉結果について（資料 20-2-26- ）

科学新聞社より助成金10万円が提供される。

科学新聞に掲載すべき記事がある場合は、佐久間先生と事務局に相談して欲しい旨の案内があった。尚、掲載に際し、広告の紹介がある方がよい。

- 「新会長の紹介」、「次期大会の概要」を掲載予定。
- 2 6 - 関東支部（仮称）の設置について（資料 20-2-26- ）
今後、関東支部を設置する必要があるが、関東には 1,217 人の会員があり、巨大な支部となる。支部を 2 つに分けるのかなど、検討する必要がある。本件について、支部担当理事の千原理事、湊理事に検討を依頼する。
- 2 6 - 医療安全調査委員会（仮称）について（資料 20-2-26- ）
厚生労働省医政局より、医療安全調査委員会（仮称）の意見募集が行われている旨の案内があった。
- 2 6 - 日本医学会よりの依頼について
新しい医学の進歩の原稿執筆依頼があり、意見をいただきたい旨の依頼があった。
- 2 6 - 支部会計のあり方について
本部が一括で財務管理する必要があり、専門別研究会と同様の規定を作る必要がある。辻岡理事、林理事、支部担当理事、財務担当理事で原案を作成することとする。今年度は、移行処置が必要である。
- 2 6 - 協賛等の状況
資料を回覧した
- 2 6 - 今年度理事会予定（資料 20-2-26- ）
理事会の時間を 3 時間とし、議事終了後、懇談会の時間をとることとする。
今年度の次回以後理事会は、第 3 回：11 月 18 日、第 4 回：1 月 23 日、第 5 回：3 月 13 日でいずれも 14 時～17 時を予定する。
- 2 6 - 2013 年 IEEE EMB 大会開催として日本（大阪にて開催）からも立候補することが報告された。
- 2 6 - 本年 10 月 18 日に川崎医科大学にて中四国支部大会を開催する予定